

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="checkbox"/> 安全 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）																				
技術名称	北海道の道路景観形成～道路デザインブック	担当部署	地域景観ユニット																		
NETIS登録番号	—	担当者	二ノ宮 清志																		
社名等	独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所	電話番号	011-590-4044																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>近年、景観緑三法の施行をはじめ、国土交通省所管の公共事業において「景観整備の事後評価の手引き(案)」や「景観検討の基本方針(案)」が示され、さらに事業部門別に景観形成のガイドライン等の技術資料も策定されるなど、国の景観施策の整備が進んでいます。なお、道路分野では、平成17年に国土交通省にて『道路デザイン指針(案)』が定められ、基本事項が示されました。</p> <p>以上を踏まえ、北海道の自然や景観特性に配慮した道路景観の具体的な考え方(ローカル・ルール)や、計画段階から維持管理段階まで活用できる設計手法及び、参考となる実例が必要でした。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>景観計画には、地域の特徴や資源を生かして適切に表現し、地域のイメージを高める必要があります。</p> <p>また、道路および沿道の景観形成手法は、地域特性や景観資源によって大きく異なり、路線ごとに適切な整備方針を立案することが必要です。</p> <p>以上を踏まえ、本書では道路景観形成の基本理念や共通目標を示した上で、景域を6つに分類し、それぞれの目標・留意点を示しております。さらに、計画段階から維持管理段階における「景観形成のルール」について、実例とともに記載しています。</p> <p>なお、「道路デザインブック」の作成にあたっては、道路景観形成のポイントをチェックリスト形式で解説した「道路景観チェックリスト」も併せて作成しており、2つの技術資料を連携させることで、各現場の担当者が景観向上策を実践しやすい内容となっております。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>技術資料の作成により、道路事業実施者が地域特性を活かしつつ、機能とコストのバランスが取れた美しい道路デザインに関して、共通した認識を持つことが可能となります。さらに、設計手法と参考事例を記載しているため、記載事項を効率的に実践していくことができます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>・基本的に「道路景観形成に向けたローカル・ルールづくり」を行う全ての公共団体に適用可能です。</p> <p>※「路側式道路標識」など、特に郊外部を有する地域において有効な技術、配慮事項が数多く記載されています。（「道路景観チェックリスト」記載事項を含む）</p> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">国の機関</td> <td style="padding-right: 10px;">1 件</td> <td style="padding-right: 10px;">（九州</td> <td style="padding-right: 10px;">0件</td> <td style="padding-right: 10px;">、九州以外</td> <td>1件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> </table>			国の機関	1 件	（九州	0件	、九州以外	1件）	自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）	民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）
国の機関	1 件	（九州	0件	、九州以外	1件）																
自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																
民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																

6. 写真・図・表

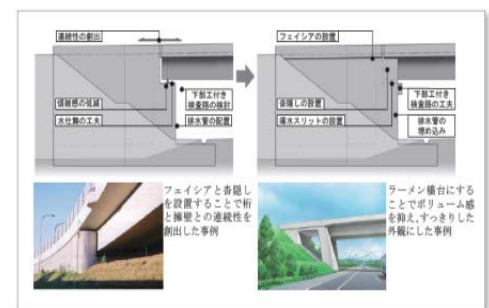
北海道の 道路デザインブック(案)



基本理念／手法： 北海道の道路デザイン基本理念



ルール：具体の 技術事例

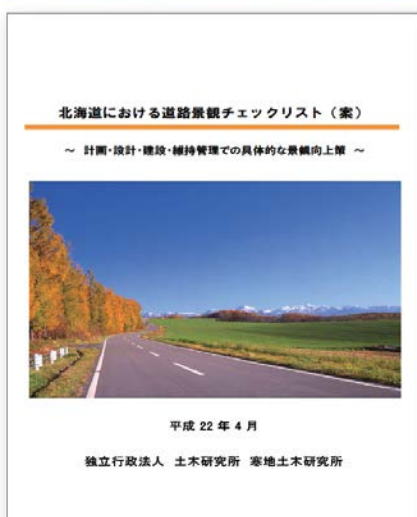


【目次】

●理念/手法	●ルール	●参考資料
第1章 本書の活用にあたって	第6章 道路線形	資料1 北海道のみちづくり・補足
第2章 景観整備の意義	第7章 道路断面	資料2 用語の定義
第3章 北海道の景観特性	第8章 構造物	資料3 視覚的分析手法
第4章 道路デザインコンセプト	第9章 道路付属物	資料4 デザインツール
第5章 道路デザイン手法	第10章 緑化	資料5 ケーススタディ
	第11章 休憩施設	資料6 事例写真集
	第12章 事業連携	
	第13章 その他の留意事項	

※道路デザインブックと連携して作成した資料

北海道における 道路景観チェックリスト(案)



●景観改善のポイント

●解説

- 道路標識は、交通の円滑性を確保するに欠かせない施設ですが、一般的な設置方式では良好な眺望等を妨げていることがあります。
- 道路標識の設置位置は、周辺の景観との関係についても十分に検討する必要があります。

●P型標識

●路側型標識

案内標識の「左側の路肩」への設置は、「道路標識、区画線及び道路標識に関する命令(50.12.7)施行令(建設省令第三号)」や「自動車道標識令(昭和49年8月20日政令第20号)」にも明記されています。

掲載している具体例：景観改善のポイント

【目次】

●道路線形編	●道路付属施設編
●道路断面編	●維持コスト縮減編
●道路緑化編	●海外の事例